

優秀賞（テレビ神奈川賞）

## 地域のつながりの大切さ

横浜共立学園中学校3年 くりはら 栗原 しの 詩乃

先日、西日本を中心に集中豪雨がありました。記録的な大雨が続き、河川の氾濫や洪水、土砂災害などが相次いで、大きな被害が出ました。私は、この西日本豪雨に関するニュース番組をテレビで見て、あることに気付くきっかけとなるニュースが2つありました。

1つ目は、ある地区の避難の様子についてのニュースです。その地区に住む1人の女性は、まだずっと雨が降る予報だからすぐに逃げないと危ないと思い、近所の人に声をかけて一緒に避難しました。また、同じ地区内の1人の男性も、川の水が逆流して流れ込んできているから危ないと思い、周りにも声をかけて避難しました。この2人は、同じ地区内でも離れた所に住んでいたため、それぞれが近所に声をかけることで地区内の全員が避難できたそうです。予想通りこの地区は家が浸水してしまいました。もし誰も声をかけていなかったら、この時は夜遅くともう寝ようとしていた人が多かったようなので、ほとんどの人が避難できず、助からなかったに違いありません。このニュースを知って、日頃やっていないことを急に災害時にやることは難しいため、普段から地域のつながりを保つ必要があると思いました。

2つ目は、避難所の様子についてのニュースです。高齢者が多い所では、中高生が率先して手伝いをする姿が見られました。手伝いをしていた中学生が、若い自分達ができることをしたいと言っていました。高齢者は元気にたくさん動くことはできない上、力があるわけでもないため、高齢者のみで避難所で生活することは難しいでしょう。手伝いをしていた中学生がこのようなことを言えるのは、地域のことを思っているからだと思います。このニュースでも、

地域とつながる必要性を感じることができました。

このように、この2つのニュースを通して、地域のつながりがとても大切であるということ、そしてそれを保つには日頃から地域と関わりをもつ必要があるということに気付きました。

あなたは、地域と関わりをもつために何か地域活動に参加していますか。

私は、自分が住む区のジュニアリーダースクラブに所属しています。ジュニアリーダースとは、地域の子ども会の手伝いをする中高生のことで、大人と子どものパイプ役として活動を進め、盛り上げます。子ども達と一緒に遊んだり野外活動をしたりして、子ども達の面倒を見ることや、美化活動、地域の野球大会の手伝いなど、地域に関わる活動をたくさん行っています。私は、このクラブには、地域とつながるために入ったわけではありません。しかし、今回の西日本豪雨での地域のつながりの大切さを知ったことで、これからは地域に貢献できるように、より意識して活動に取り組んでいきたいと思いました。

きっと地域活動に参加している人は多くないと思います。地域のつながりが薄れているということが現実です。しかし、私達はいつ何が起こるかかわからない状況の中にいるのです。西日本豪雨の例からも分かるように、何か大きな災害が起こる前に、地域のつながりを保つ必要があります。だから、いつ何が起こるかかわからない状況にいるということをより多くの人が目の当たりにして、地域のつながりを保つ大切さを理解し、地域活動に参加していくべきなのだと言います。私は、地域活動に参加する人が増えていき、たくさん地域がつながりのあるよりよい地域になってほしいと願っています。